

2018年3月期 第1四半期 決算説明資料

株式会社キトー（東証1部：6409）

2017年8月9日

下記URLにて 当社社長 120秒 メッセージをご確認下さい。

http://www.cmstream.com/ir/kito201708_T5rb7Jk8/_movie/



2018年3月期 第1四半期 サマリー

1. 市場環境

政治・経済の動向に不透明感は残るものの、全般的にインフラ需要に加え、設備投資の持ち直しにより、総じて緩やかな回復基調

2. 2018年3月期 第1四半期業績

引き続き日本国内のインフラ投資需要が業績を牽引、米国においては堅調な設備投資需要が底堅く推移。

売上高	11,919百万円	(前年同期比 +15.5%)
営業利益	538百万円	(前年同期比 △4.1%)
当期純利益※	388百万円	(前年同期比 +43.7%)

※親会社株主に帰属する四半期純利益

為替レート 平均レート 1ドル = 111.1円

3. 総括

- (1) 売上高は国内のインフラ、設備投資需要、中国経済の底打ちにより増収
- (2) 海外子会社の製品在庫に含まれる利益消去（未実現利益）の影響で営業減益
- (3) 天然資源市場、為替水準など、外部環境の変化は引き続き予断を許さず

1

2018年3月期 第1四半期 決算報告

2

2018年3月期 見通し

3

参考資料

- ・ 過去5期分の業績・財務情報（2013年3月期-2017年3月期）
- ・ 中期経営計画（2017年3月期-2021年3月期）

2018年3月期 第1四半期 決算ハイライト

(単位 百万円)	2017/3期 Q1 累計 (4~6月)	2018/3期 Q1 累計 (4~6月)	前期比
売上高	10,323	11,919	15.5%
営業利益 (営業利益率)	561 (5.4%)	* 538 (4.5%)	△4.1%
営業外収益	57	39	
営業外費用	** 388	*** 225	
経常利益 (経常利益率)	229 (2.2%)	351 (3.0%)	53.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	270 (2.6%)	388 (3.3%)	43.7%
EBITDA =営業利益+償却費	1,069	1,095	

注 為替レート (2017/3期Q1→2018年/3期Q1) :

USD 108.1円 → 111.1円 CAD 83.8円 → 82.6円 EUR 122.0円 → 122.2円 RMB 17.6円 → 16.6円

* 未実現利益 152百万円を含む

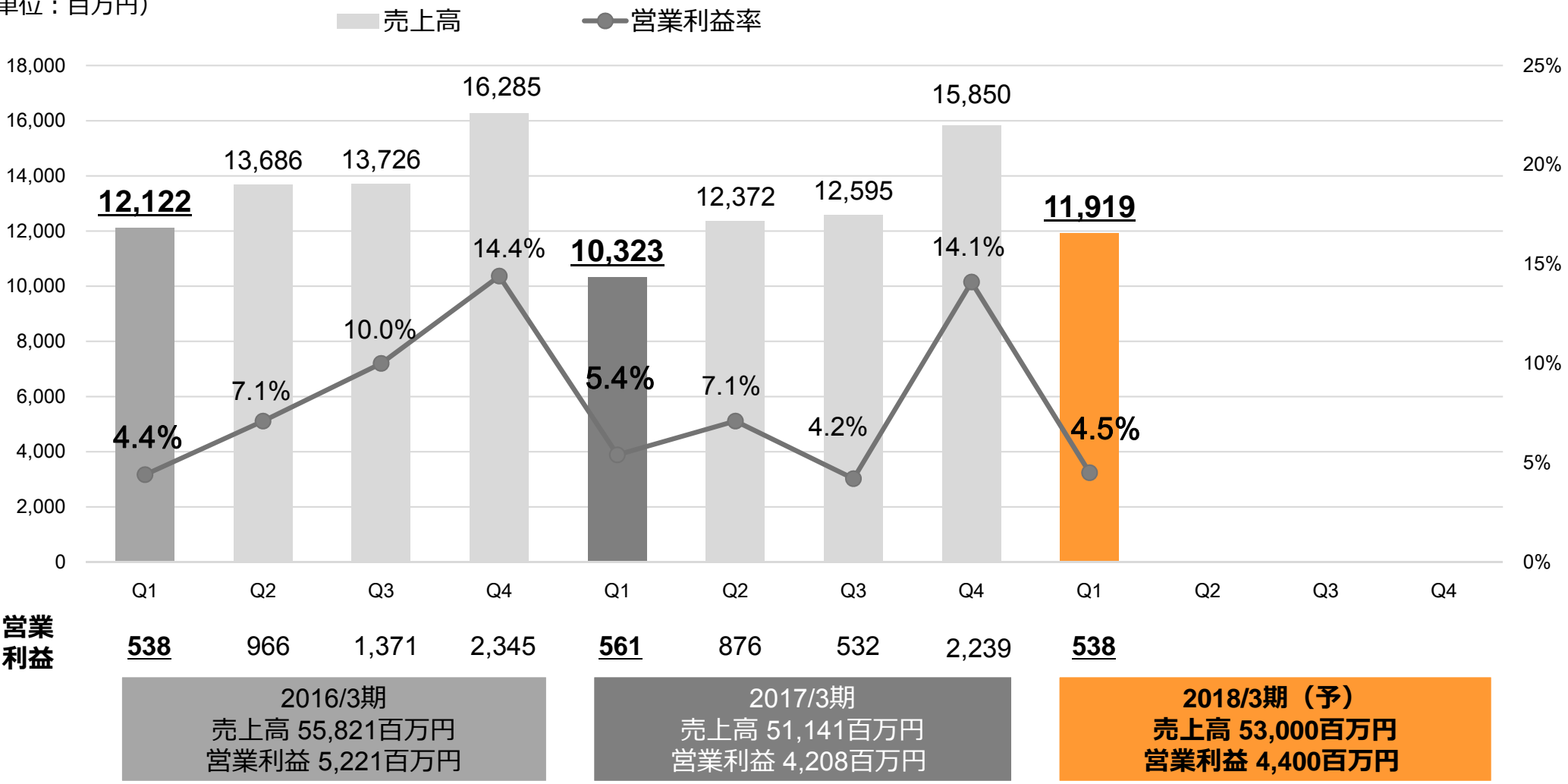
** 為替差損 233百万円を含む

*** 非連結のイタリア子会社収支91百万円を持分法による投資損失として計上

売上高および営業利益率（四半期比較）

**足もとは国内の業績が牽引、グローバルでも回復基調
海外子会社在庫に含まれる利益消去の一時的な影響により減益**

(単位：百万円)



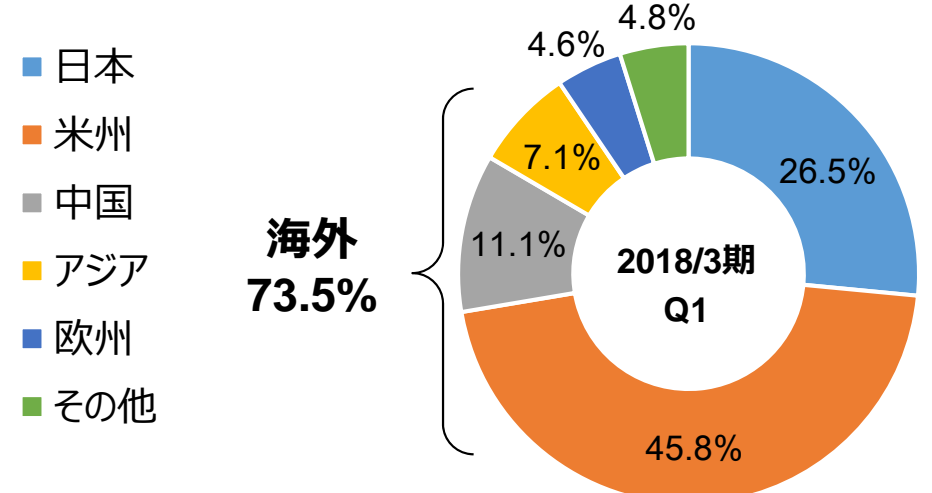
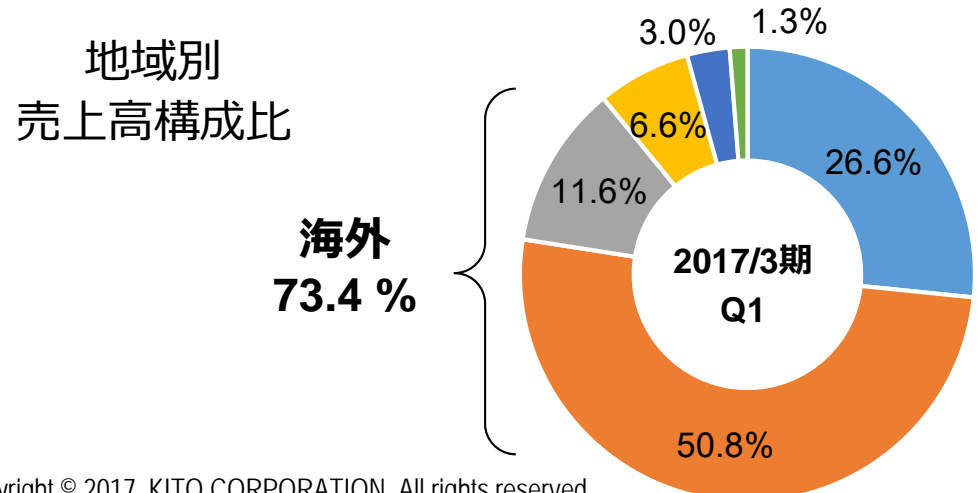
地域別の状況

地域分散された事業ポートフォリオを展開、各地域とも増収

(単位：百万円)	2016/3期 Q1		2017/3期 Q1		2018/3期 Q1		前期比	
		構成比		構成比		構成比	増減額	増減率
売上状況	12,122	100.0%	10,323	100.0%	11,919	100.0%	1,596	15.5%
日本	2,501	20.6%	2,748	26.6%	3,163	26.5%	415	15.1%
米州	6,133	50.6%	5,246	50.8%	5,466	45.9%	220	4.2%
中国	1,926	15.9%	1,199	11.6%	1,323	11.1%	123	10.3%
アジア	940	7.8%	685	6.6%	848	7.1%	162	23.7%
欧州	434	3.6%	313	3.0%	542	4.6%	228	72.9%
その他地域	185	1.5%	129	1.3%	575	4.8%	445	343.1%

注 為替レート (2017/3期 Q1→2018年/3期 Q1) :

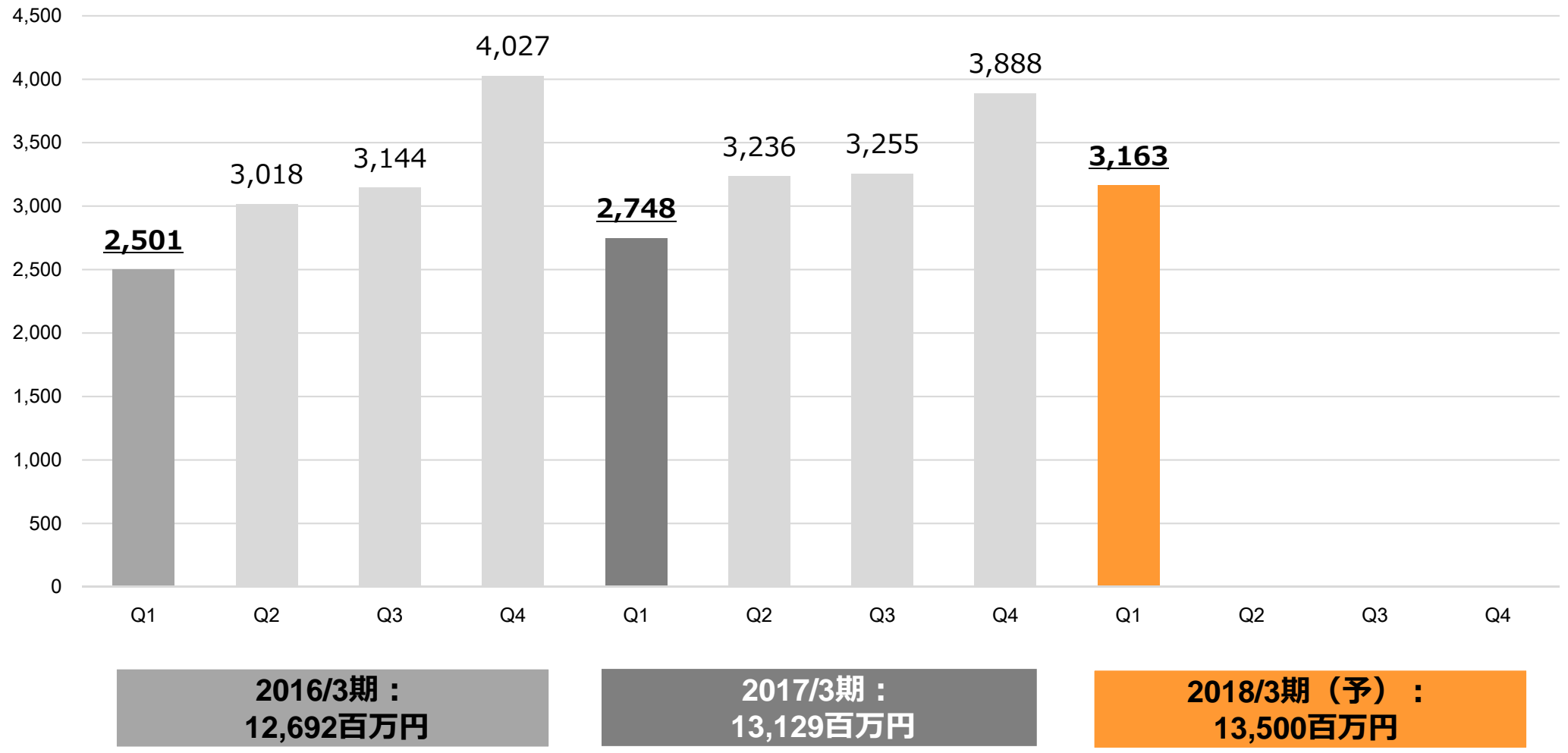
USD 108.1円 → 111.1円 CAD 83.8円 → 82.6円 EUR 122.0円 → 122.2円 RMB 17.6円 → 16.6円



地域別売上高（日本）

- 電力、橋梁など、インフラ整備向けの需要が顕在化
- 民間設備投資も、受注が堅調に推移

(単位：百万円)

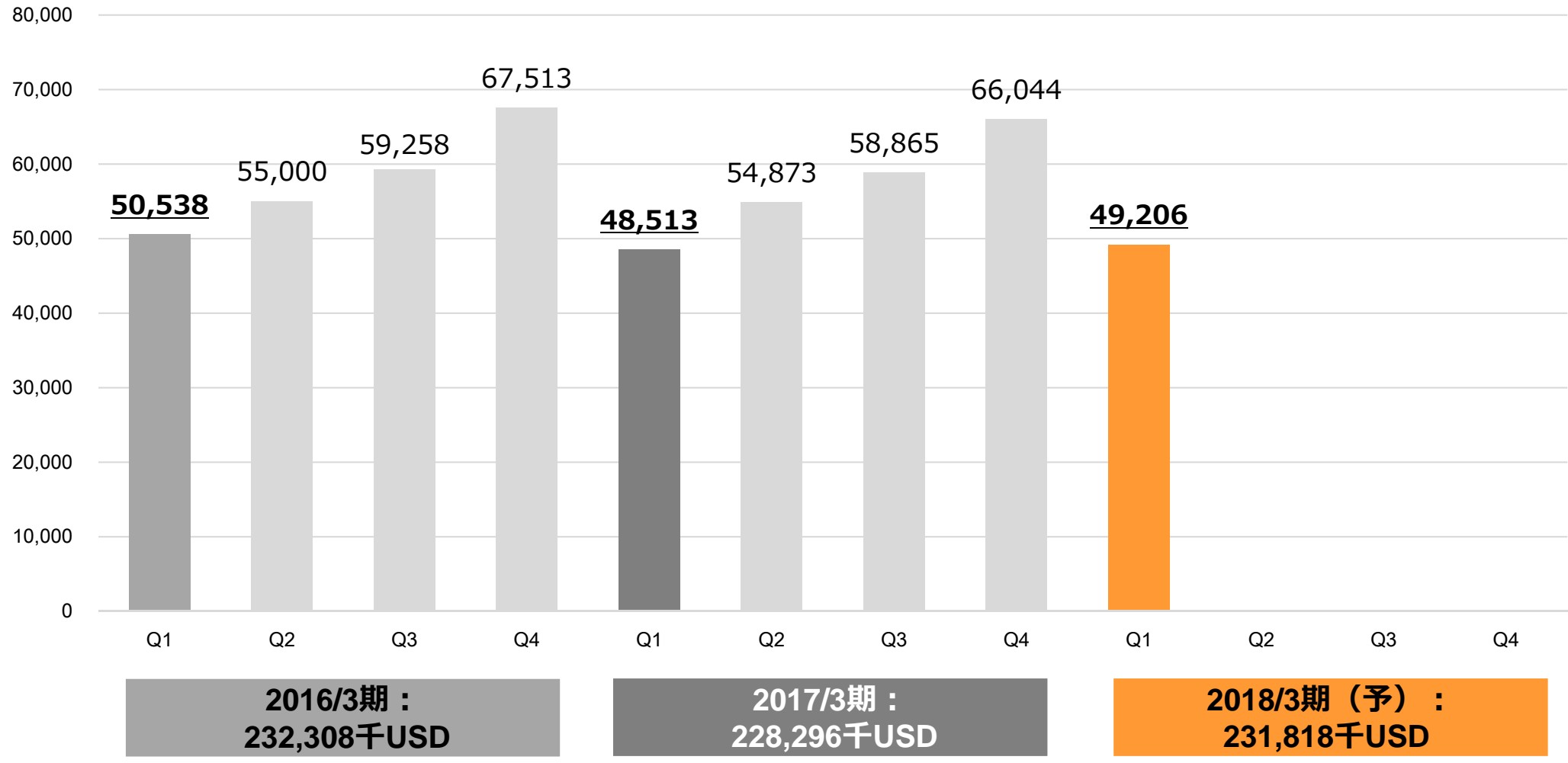


地域別売上高（米州）

※グラフは米国市場売上高にカナダ市場売上高及び中南米市場売上高（千ドル換算）を加算した金額の推移

- 米政権運営、軟調な資源価格など不安要素はあるが、
製造業の投資需要は底堅く推移

（単位：千USD）

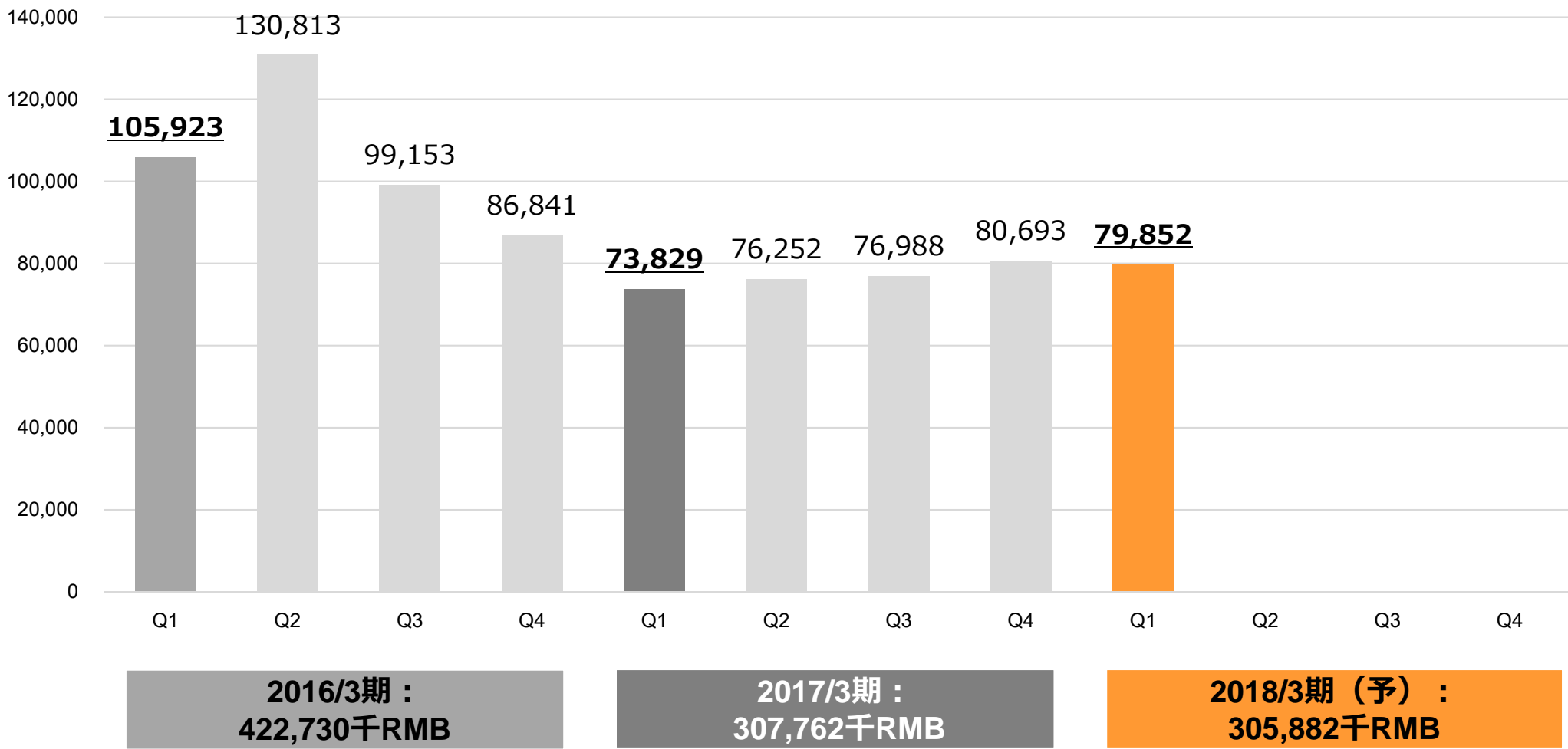


地域別売上高（中国）

※中国は1-12月決算

● 景気減速感にも歯止めが掛かり、低調に推移した需要も底打ち感

（単位：千RMB）

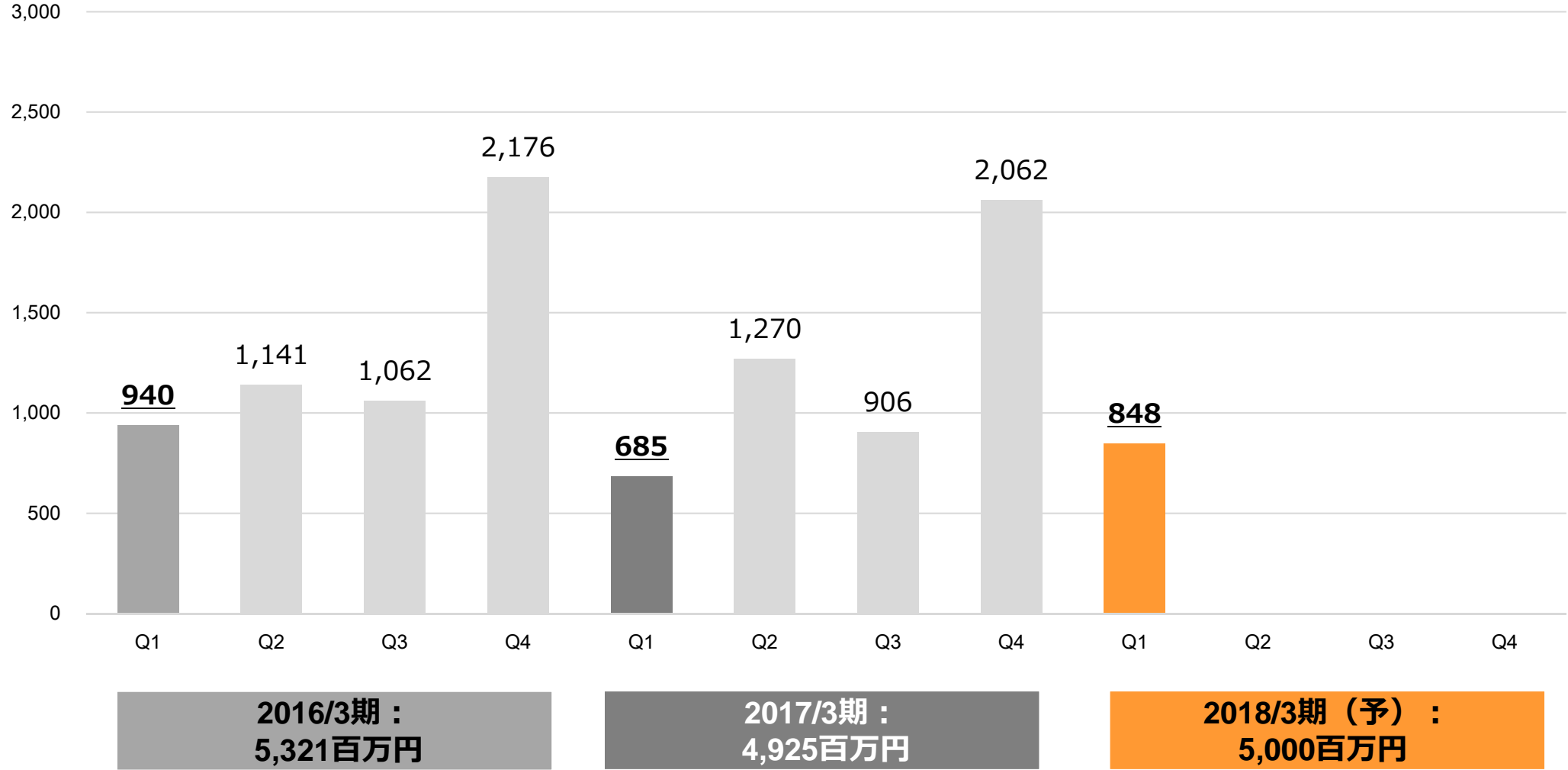


地域別売上高（アジア）

※タイ、韓国は1-12月決算

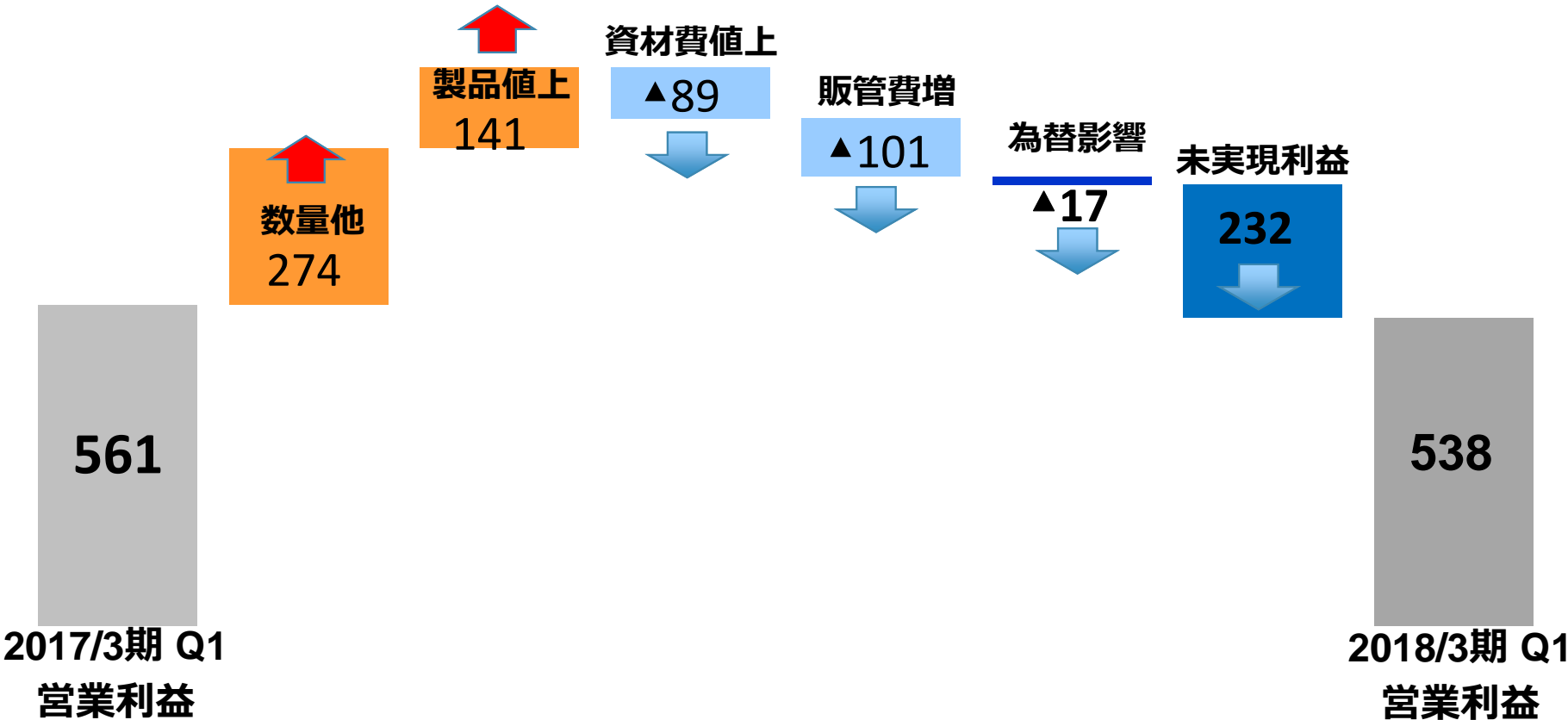
- 韓国では、フラットパネルディスプレイ向けクリーンルーム用クレーンの受注が好調
- タイでは、サービス事業、ホイスト販売の強化に注力したことで収益性改善

（単位：百万円）



営業利益の比較

(単位：百万円)



2018/3期 Q1 連結貸借対照表

単位：百万円	2017/3期 期末	2018/3期 Q1	増減額
流動資産	37,960	37,682	▲277
現金・預金	9,069	9,753	683
受取手形及び 売掛金	11,139	9,347	▲1,792
たな卸資産	15,402	16,085	683
その他	2,348	2,496	148
固定資産	22,177	21,993	▲183
有形固定資産	11,948	11,611	▲336
無形固定資産	7,658	7,634	▲23
投資その他資産	2,569	2,746	176
資産合計	60,137	59,676	▲461

単位：百万円	2017/3期 期末	2018/3期 Q1	増減額
流動負債	20,023	20,222	198
支払手形及び 買掛金	5,438	6,116	677
短期借入金	9,879	10,332	453
その他	4,705	3,773	▲932
固定負債	18,874	18,202	▲671
長期借入金	14,298	13,649	▲649
その他	4,575	4,553	▲21
純資産合計	21,239	21,250	11
負債純資産合計	60,137	59,676	▲461

1

2018年3月期 第1四半期 決算報告

2

2018年3月期 見通し

3

参考資料

- ・ 過去5期分の業績・財務情報（2013年3月期-2017年3月期）
- ・ 中期経営計画（2017年3月期-2021年3月期）

2018年3月期の見通し

日 本



市場環境

- 民間設備投資が継続し、持続的な成長を期待
- インフラ整備ほか建築土木の需要拡大を見込む

取り組み

- 新製品の導入、品揃え拡大を継続
- クレーンビルダーとの連携強化
- 新基幹システム導入による効率化の推進

米 州



市場環境

- 需要は幅広い産業で底堅い推移を期待
- インフラ関連投資に期待、エネルギー関連産業はやや軟調

取り組み

- 製品品揃えの拡大による市場競争力の強化
- 現地生産の拡大によりサプライチェーン最適化

2018年3月期の見通し

中 国



市場環境

- 景気減速の底打と、今後の需要回復を期待

取り組み

- グローバル製品の生産拡大
- コスト削減による利益改善策を継続

ア ジ ア



市場環境

- 依然として設備投資の回復が認められず

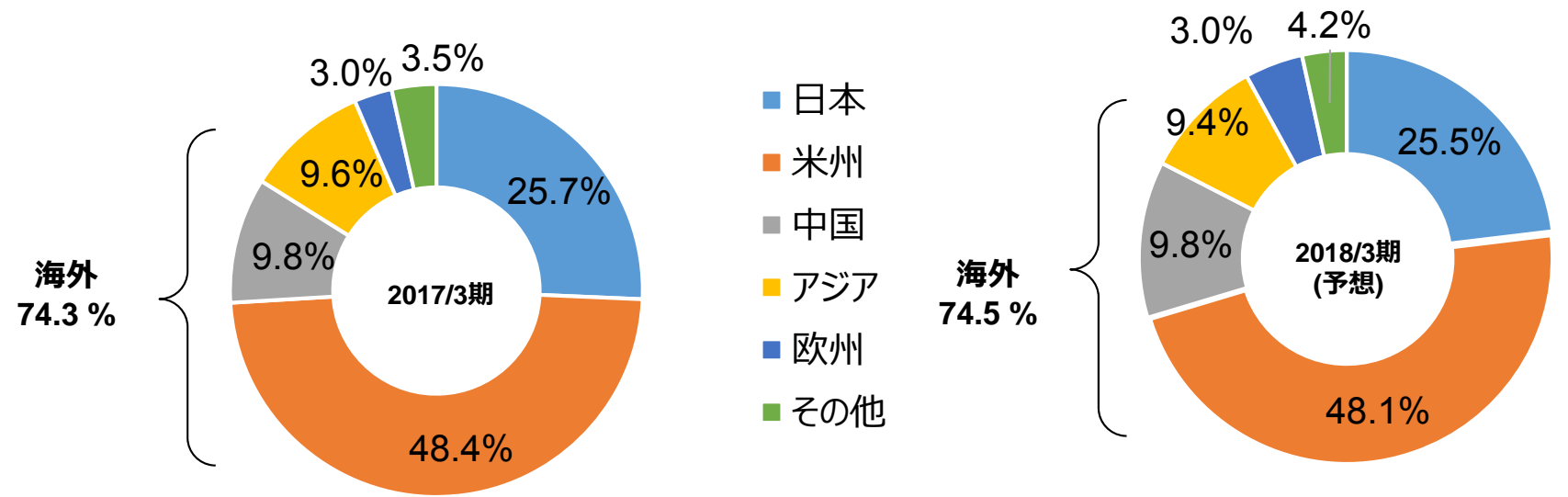
取り組み

- クレーンのメンテナンスなどサービス事業、ホイスト販売の強化

2018年3月期 業績予想 (地域別)

(単位：百万円)	2017/3期		2018/3期 (予想)		前期比	
		構成比		構成比	増減額	増減率
売上状況	51,141	100.0%	53,000	100.0%	1,858	3.6%
日本	13,129	25.7%	13,500	25.5%	371	2.8%
米州	24,742	48.4%	25,500	48.1%	758	3.1%
中国	5,034	9.8%	5,200	9.8%	166	3.3%
アジア	4,925	9.6%	5,000	9.4%	74	1.5%
欧州	1,523	3.0%	1,600	3.0%	77	5.1%
その他地域	1,785	3.5%	2,200	4.2%	415	23.2%

地域別
売上高構成比



2018年3月期 業績予想

(単位 百万円)	2017/3期	2018/3期	前期比
売上高	51,141	53,000	3.6%
営業利益 (営業利益率)	4,208 (8.2%)	4,400 (8.3%)	4.5%
経常利益 (経常利益率)	3,249 (6.4%)	3,700 (7.0%)	13.9%
親会社株主に帰属する 当期純利益 (当期純利益率)	1,897 (3.7%)	2,500 (4.7%)	31.7%
EBITDA =営業利益+償却費	6,340	7,000	

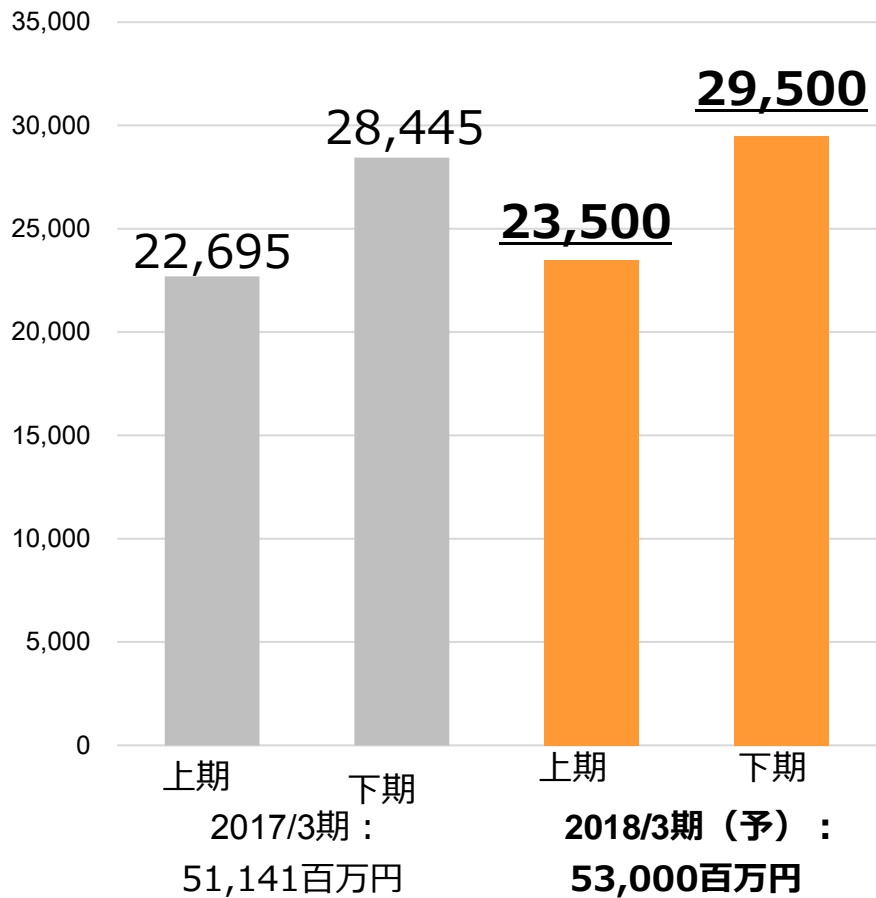
注 為替レート(2017年3月期→2018年3月期) :

USD 108.4円→**110.0円** CAD 82.5円→**80.0円** EUR 118.8円→**120.0円** RMB16.4円→**17.0円**

米国、欧州の情勢に不透明感はあるものの、緩やかな成長を期待。
資源価格は戻り基調だが一進一退。鋼材の一段高を懸念

売上高

(単位：百万円)



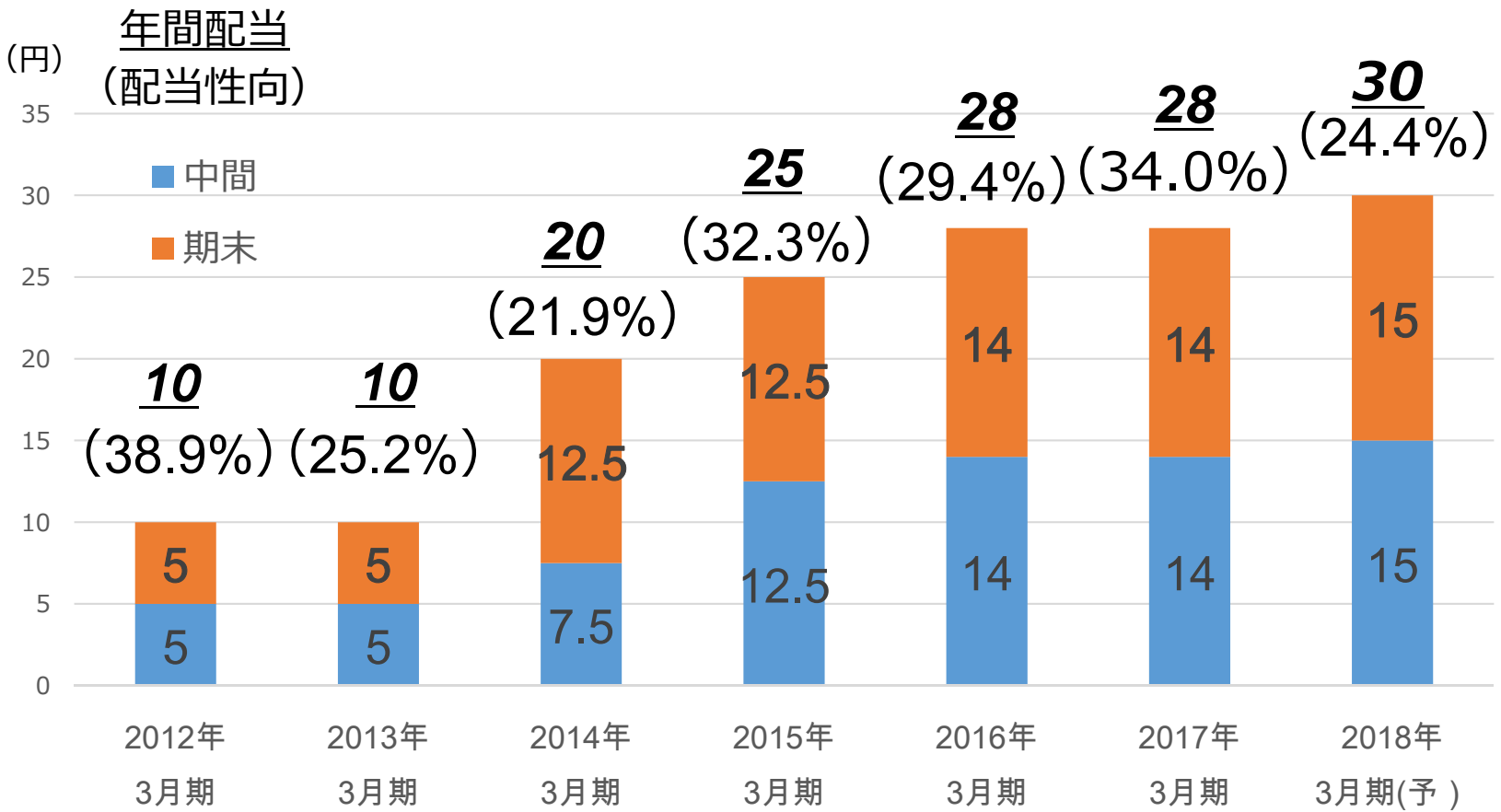
営業利益・営業利益率

(単位：百万円)



株主還元方針／配当予想

**配当性向20%以上を目処に
年間配当額 30円 を予定**



(注) 下記の株式分割を行っており、上記配当額は当該株式分割を勘案した数値を記載しております。

2013年4月1日付：普通株式1株→100株、2014年10月1日付：普通株式1株→2株

(注) 2014年3月期につきましては、2014年10月1日の株式分割前となる中間期の実際の1株当たり配当額は25円となり、株式分割後の期末の1株当たり配当額は2分割後の12.5円となります。

1

2018年3月期 第1四半期 決算報告

2

2018年3月期 見通し

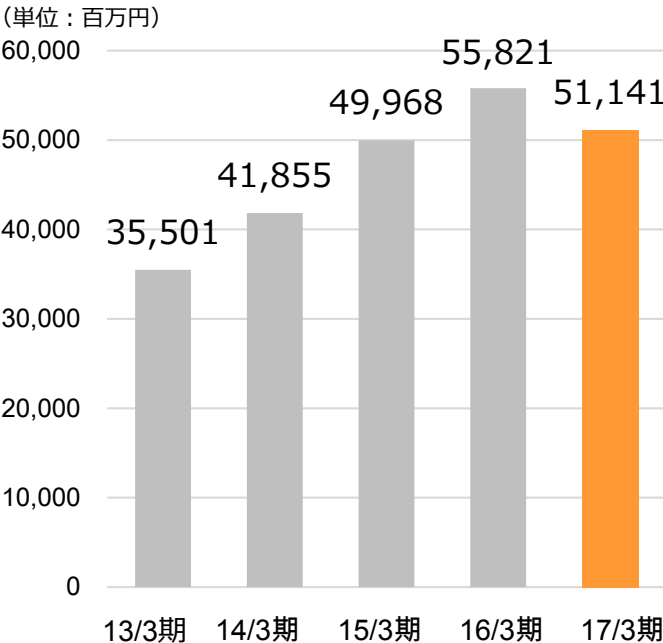
3

参考資料

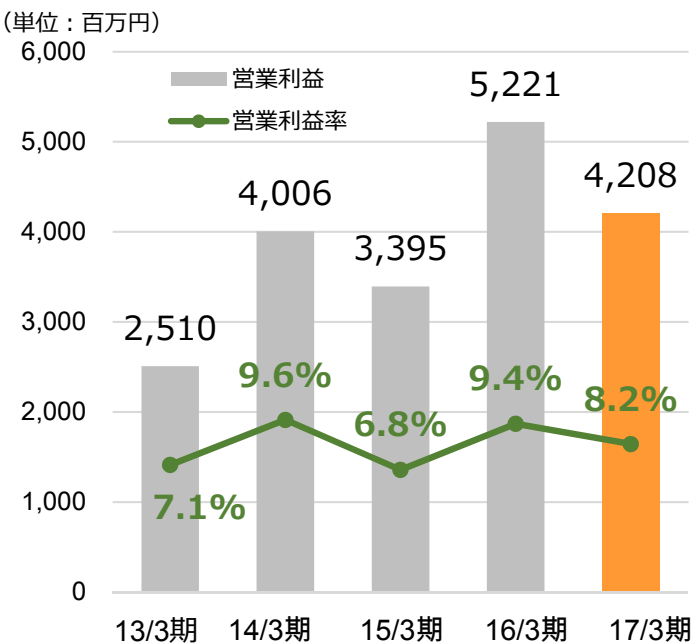
- 過去5期分の業績・財務情報（2013年3月期-2017年3月期）
- 中期経営計画（2017年3月期-2021年3月期）

業績・財務情報

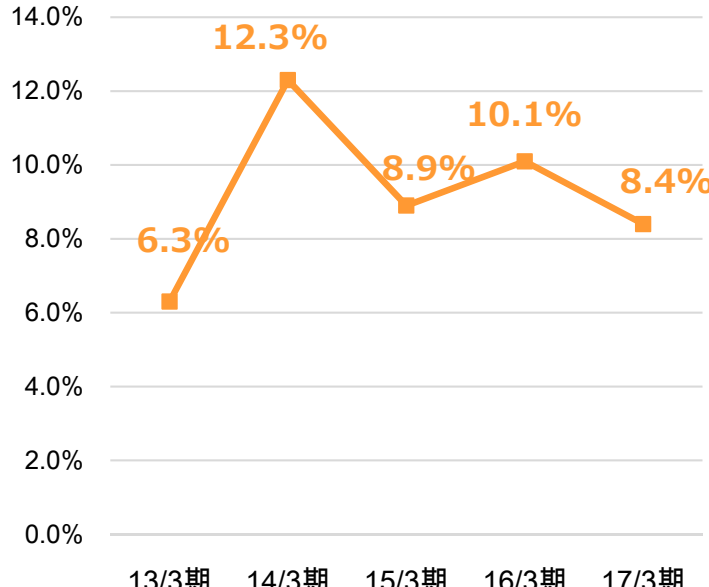
売上高



営業利益・営業利益率

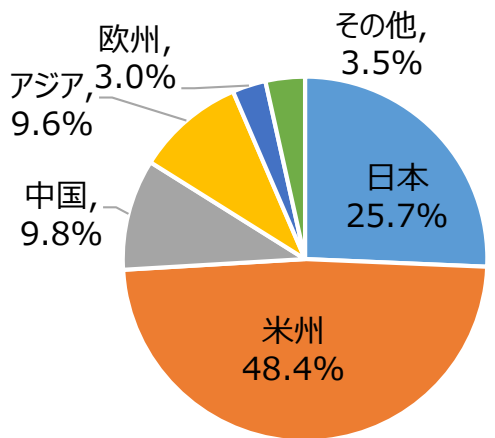


ROE



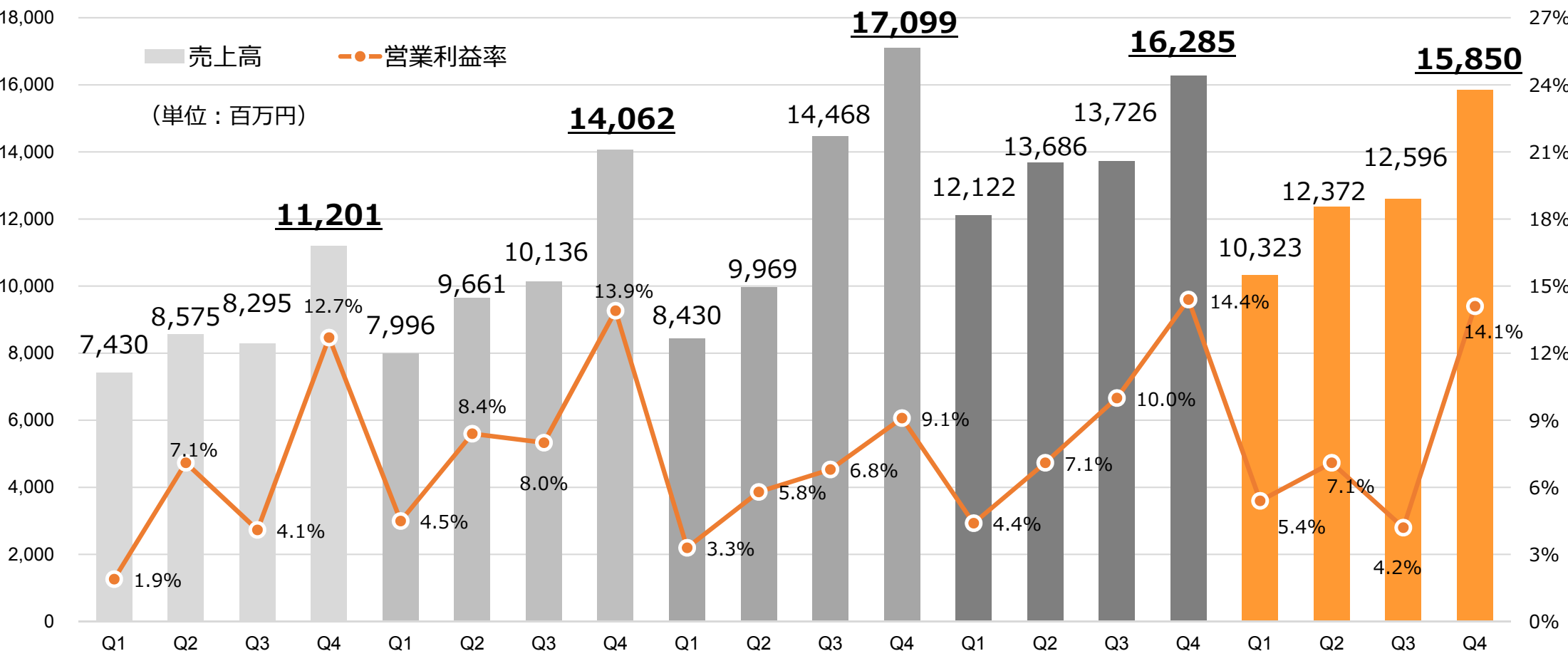
地域別売上高比率

(2017年3月期)



	2013/3期	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期
海外比率	67.1%	72.2%	76.6%	77.3%	74.3%
為替平均レート					
USD	83.1円	100.2円	109.9円	120.1円	108.4円
CAD	82.9円	95.1円	96.5円	91.8円	82.5円
EUR	107.1円	134.4円	138.8円	132.6円	118.8円
RMB	12.6円	15.9円	17.2円	19.2円	16.4円
設備投資額(百万円)	1,520	2,440	1,408	2,013	2,239
減価償却費(百万円)	774	954	1,311	1,814	1,792

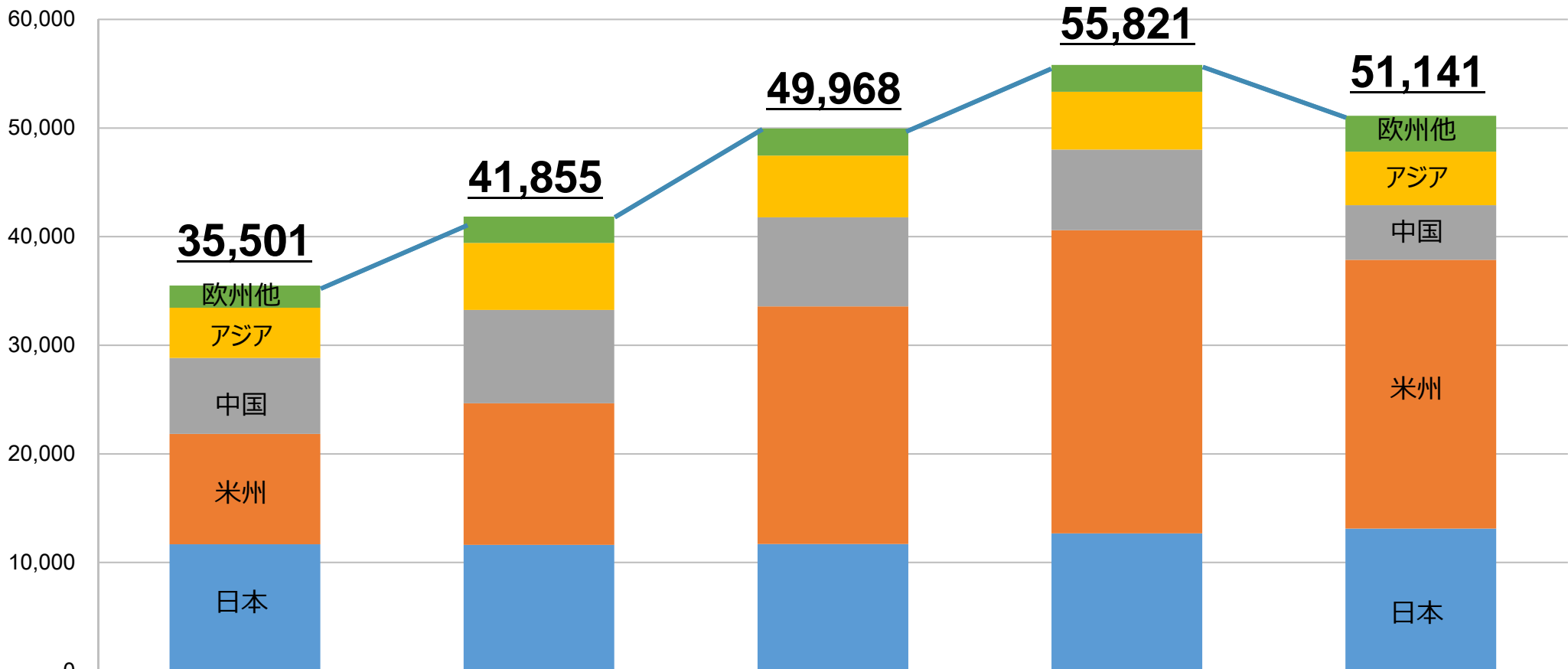
売上高および営業利益率（四半期比較）



営業利益	139	609	343	<u>1,419</u>	360	806	809	<u>2,030</u>	280	575	987	<u>1,553</u>	538	966	1,371	<u>2,345</u>	561	876	532	<u>2,239</u>
2013/3期	売上高 35,501百万円 営業利益 2,510百万円				2014/3期				2015/3期				2016/3期				2017/3期			
	売上高 41,855百万円 営業利益 4,006百万円				売上高 49,968百万円 営業利益 3,395百万円				売上高 55,821百万円 営業利益 5,221百万円				売上高 51,141百万円 営業利益 4,208百万円							

地域別売上高推移

(単位：百万円)



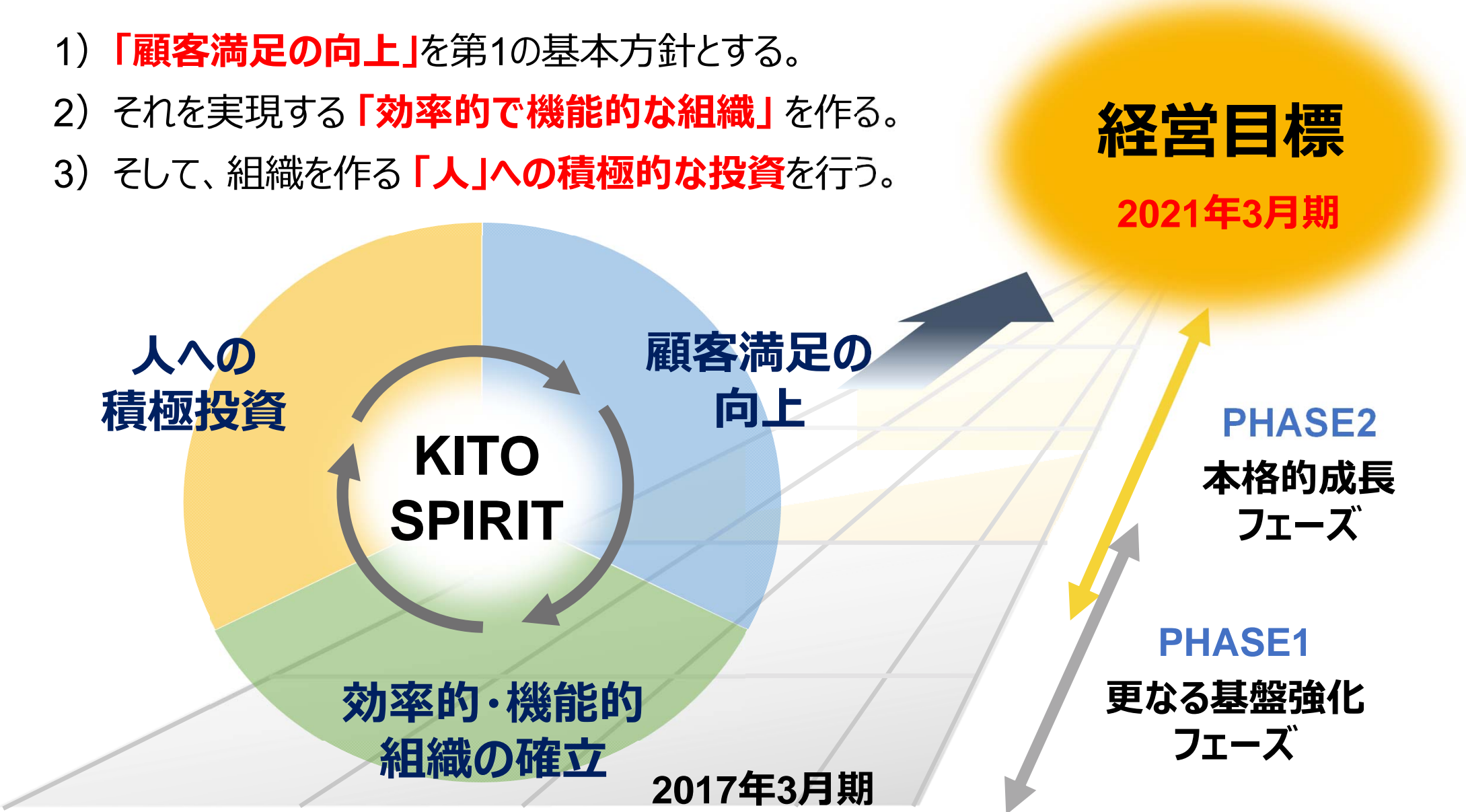
	2013/3期	2014/3期	2015/3期	2016/3期	2017/3期
■ 欧州他	2,035	2,424	2,500	2,479	3,308
■ アジア	4,626	6,168	5,676	5,321	4,925
■ 中国	6,994	8,604	8,198	7,418	5,034
■ 米州	10,163	13,034	21,888	27,909	24,742
■ 日本	11,679	11,625	11,702	12,692	13,129

中期経営計画 (2017年3月期-2021年3月期)

基本方針

3つの基本方針による“KITO SPIRIT”を原動力とした推進

- 1) 「顧客満足の上昇」を第1の基本方針とする。
- 2) それを実現する「効率的で機能的な組織」を作る。
- 3) そして、組織を作る「人」への積極的な投資を行う。



3つの経営目標に向け 収益倍増を目指す

Goal

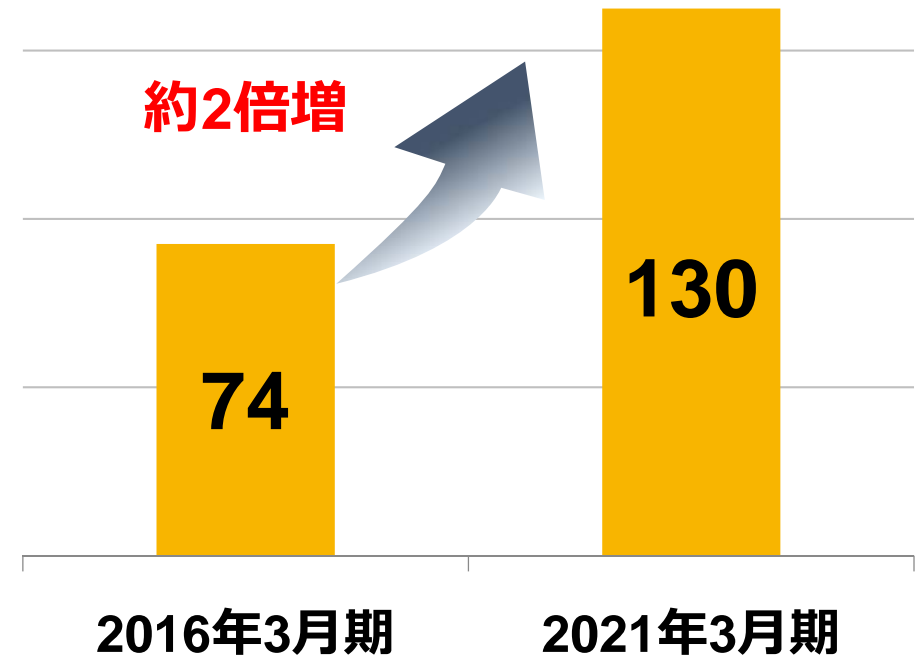
1 高収益体質への回帰

2 製品ポートフォリオ拡充による成長

3 真のグローバル企業への組織進化

Financial Target

EBITDA



(単位：億円)

“Lifting Expectations”

